

小 6 (新中 1)	受験 番号		氏 名	
---------------	----------	--	--------	--

入塾試験サンプル

小 6 (新中 1)

国 語

[ご注意]

1. この「入塾試験サンプル」は、実際の入塾試験よりも問題数を減らしたサンプル版となっています。
2. 実際の入塾試験では、問題によってはやや難易度が高い問題が出題される場合もあります。
3. 実際の入塾試験も、問題冊子と解答用紙は別々に分かれていきますので、本番と同じように解答は解答用紙に記入して下さい。

この問題は誉田進学塾が作成したものであり、著作権は誉田進学塾グループに帰属します。ご利用は入塾を希望するご家庭の学習目的に限り、権利者の許諾を得ずに複製、販売、またはウェブサイトへの掲載等を行うことを禁止します。

1

次のそれぞれの文の——線部の、漢字は読み方をひらがなで、カタカナは漢字で書いて答えなさい。

- (1) 通行のじやまになつてゐるものを除く。
- (2) 皇居は東京都にある。
- (3) ひがいが拡大する。
- (4) 明日は、時間厳守で学校に集合しなさい。
- (5) 好きな人のツマになる。
- (6) 森林は大切なシゲンだ。
- (7) 親コウコウをする。
- (8) このチイキには公園が多い。

2

次の(1)～(3)の——線部のことばと同じ意味や用法をもつものを、それぞれあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) こたつの中でねこが丸くなつてゐる。
ア とても寒かつたが、出かけた。
イ あの犬にかまれた男性が、ぼくの兄です。
ウ かれも君のように早く走れるのだが。
エ やっぱり我が家は落ち着くなあ。
- (2) 雪の降る日を楽しみにしている。
ア となり町に、兄の住んでいる家がある。
イ 雨の中を、かけ足で家に帰った。
ウ そのケーキは、だれが買ってきたの。
エ その赤いのが、私のマフラーです。
- (3) 毎朝七時に起きる。
ア あまりの寒さにふるえた。
イ 友だちと魚つりに行く。
ウ すぐに追いつきます。
エ 勉強の合い間にマンガを読む。

3 次のそれぞれの短歌を読み、あとの問いに答えなさい。

A 石崖^{いしがけ}に子ども七人腰^{こし}かけて河豚^{ふぐ}を釣り居^おり夕焼け小焼け^{こや}

北原^{きたはら}白秋^{はくしゅう}

B 今日^{けふ}までに私が^{わが}ついた嘘^{うそ}なんてどうでもいいよといううな海

俵^{たわら}万智^{まち}

C 入日^{いりひ}入日^ひまつ赤^{あか}な入日^{いりひ}何か言^えへ一言^{いちごん}言^いひて※落ちもゆけかし

今井^{いまいくにこ}邦子^こ

※落ちもゆけかし：落ちてゆけ。

問一 AとCの短歌から、次の表現上の工夫が用いられているものをすべて選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① 短歌の最後がものの名前を表すことば(名詞^{めいし})で終わっている。

- ② 短歌の決められた形式より音数が多くなっている。

問二 AとCの短歌から、次の鑑賞文^{かんしょうぶん}にもっともふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

〈童謡^{どうよう}のようなことばを用いて、情景^{かげえ}を影絵のように表現している一首である。〉

4 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

患者^{かんじや}さんは、

「こんなに体調がわるいのは、なにか重大な病気がひそんでいるからではないだろうか」

と不安に思いながら、病院へやってきました。

「病気のことをよく知っている医師ならば、きっとこの痛みのつらさもわかってくれるだろう」

と、患者さんは信じてやってくるのです。

けれども、そうした患者さん一人一人がかかえるつらさや不安については、医学生が学ぶ大学の教科書には細かく書いてありません。^①教科書からは学びようがないのです。では、どこで、どうやって学べばよいのでしょうか。

仮に教科書にヒントになりそうな説明が書かれてあったとしても、同じ病気の患者さんがすべて同じ痛みを感じ、同じ不安を持つわけではありませんね。一人ひとりで病気の感じ方というものはちがいます。

A きみが虫歯の痛みで泣くほどの思いをしたり、からだ中がかゆくて夜どおしねむれなかったりしても、そのつらさをほかの人がきみとそっくり同じに感じることはできないでし

よう？　ほかの人が感じている痛みや不安を、まったく同じように自分も感じて理解するということは、だれにもできないのです。

ただ、わたしはさいわいにして、病気のために八か月間もねたきりで苦しんだ体験があります。本当なら災難といたいところですが、自分が大病をすることにより病気をもった人のつらさを体験できた、ということは、まさに「さいわい」と呼べましょう。そのおかげで、わたしは患者さんの心を察することができます。

患者さんがどんな痛みでくるしんでいるのか、B、病気のためにどれほど気持ちがあふさいでしまっているのかを、わたしは自分の病気の体験を手がかりにして想像することができます。

「本当につらいだろうなあ」

と、患者さんの身になって感じて、何とか手を貸したいと心から思うことができます。

(中略)

もしも、わたしが結核^{けっかく}をわずらうことなく、順調にエリートコースを進んで、念願の医学部教授にすんなりなっていたら、ひよっとすると、わたしは学歴と名声を(②)にかけた高慢^{こうまん}

ちきな医師になっていたかもしれない。

「痛いくらいなんだ。がまんしなさい！」

と、患者さんをしかりつけたり、

「きみはたいへんに重い病気で、すぐに手術をしないとイケません。とにかく急ぎなさい」

などと、患者さんや家族の希望や不安はおかまいなしに、深刻な話をずけずけと、しかも、何の感情もいだかずに口にしてしまったりする医師になっていたとも考えられます。

仮にそこまで③ひどい医師にならなかったにしても、患者さんの心を察することができる医師になるまでに、わたしはもつと長い時間を費やさなければならなかったことでしょう。C、わたしはこれから医師になろうとする医学生たちには、

「きみたち、死なないでいどに」
④「などと冗談をいつていくくらいなのです。」

人生において最悪の体験だと思っていたものが、じつはわたしが人の心を察することのできる医師になるために必要なレッスンであったのだと、今は心から感謝しています。

人生というのは、こんな思いがけないかたちで、その人にとってのだいじなレッスンを用意しているのです。きつときみの毎日のなかにも、将来に生かせるレッスンがいくつもかくされ

ていて、それをきみは毎日せつせと体験中というわけでしょうね。

今日きみが失敗して、みんなに笑われてなみだをこぼした体験は、いつか友だちが失敗したときに、その気持ちをだれよりもわかってあげられるためのレッスンなのかもしれません。今日きみがほめられたときに味わった、晴れやかな、ほこらしい気分は、きみがもつと大きなことに勇気をもってチャレンジするための準備運動みたいなものかもしれません。

どんな瞬間しゅんかんのなかにも、きみがなにかを学べるチャンスがかくされているということです。D、自分がいつ、なにを学んだのか、それに気づけるかどうかはきみしだい、ということをお忘れなくくださいよ。

ひのはらしげあき
(日野原重明「十歳のきみへ——九十五歳のわたしから」〈富山房インターナショナル〉より)

問一

A・B・C・D にあてはまる言葉として

最もよいものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

A だから イ ただし

ウ そして E たとえば

問二 ―― ①「教科書からは学びようがないのです」とありますが、それはなぜですか。「患者のことはできないから。」

という形にあてはまるように、文章中から三十字以内(句読点も字数に数えます)でさがし、最初と最後の五字を書きぬいて答えなさい。

問三 (②) には体の一部を表す言葉があてはまります。

あてはまる言葉を漢字一字で答えなさい。

問四 ―― ③「ひどい医師」とありますが、

(1) このような医師とは、筆者は具体的にどのような医師だと考えていますか。ふさわしくないものを次から選び、記号で答えなさい。

ア ずうずうしくて、遠慮^{えんりょ}することを知らない医師。

イ 人の気持ちを考えられない、自分勝手な医師。

ウ 病気の進行具合について、正確に理解できない医師。

エ 高圧的^{こうあつてき}で人を見くだし、患者の心を見ようとしないう医師。

(2) 筆者の考えるよい医師とはどのような医師ですか。文章中から十五字でさがし、ぬき出して答えなさい。

問五 ④ にあてはまる言葉として最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 勉強しなさい

イ 病気をしなさい

ウ がまんしなさい

エ 人の心を考えなさい

問六 本文中の内容として合っているものを次から選び、記号

で答えなさい。

ア 自分が大病を患^{わず}ったことで、患者の気持ちが手に取るように分かるようになった。

イ 人生において最悪な経験をするのが、医師になる人には必要だ。

ウ 順調にエリートコースを進み、医学部教授になると、高慢^{こうまん}な医師になってしまう。

エ 人それぞれ感じているつらさはちがいが、それを同じように感じて理解することはできない。

問七

この文章全体を通して、筆者が最も伝えたいこととしてふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 痛みや不安といった人が感じていることを、同じように自分も感じて理解しようと努力すべきだ。

イ どんなことも何かを学ぶことができるチャンスであり、なにを学んだのか気づけるように心がけるべきだ。

ウ 日常生活の中には、将来に活かせるレッスンがたくさんあり、より多く体験すべきだ。

エ 自分が失敗して悔しく思った体験だけは、他の人の気持ちを理解するために必要だ。

(これで問題は終わりです)

解答

- 1 (1) のぞ (2) こうきよ (3) かくだい (4) げんしゅ

- (5) 妻 (6) 資源 (7) 孝行 (8) 地域

- 2 (1) イ (2) ア (3) エ

《解説》

(1) 例文とイは、「くがどうする・どんなだ・何だ」という述語に続いて、主語を表すはたらきがあります。アは、「とても寒かった。しかし、出かけた。」のように、反対の内容を表す二つのことがらを結びつけるはたらきがあり、「しかし」「でも」「だが」などの接続語と同じようなはたらきをしています。ウは、文の終わりについて、「かれが速く走れる」ということを遠回しに述べる気持ちを表しています。エは、「我が」という一語のことばの一部です。

(2) 例文とアは、主語を表す「が」と同じはたらきがあります。イは、上の語が下の語を説明するはたらきをしています。ウは、文の終わりについて、質問する気持ちを表しています。エは、「くのもの」と、名詞と同じようなはたらきをします。

- (3) 例文とエは、場所や時間を表すはたらきがあります。ア

は、動作・作用の起こる原因やきっかけを表します。イは、目的を表すはたらきがあります。ウは「すぐに(副詞)」の一部です。

- 3 問一 ① A・B ② B・C

《解説》

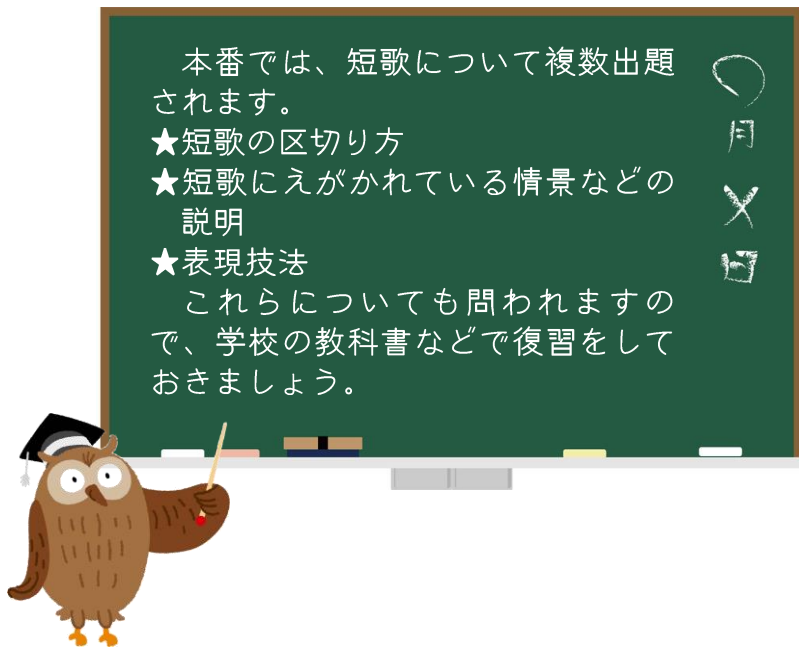
① 短歌の最後がものの名前を表すことば(名詞)で終わる表現技法を、体言止めといいます。Aは「夕焼け小焼け」、Bは「海」と、名詞で終わっていることを確認しましょう。

② 短歌には、五・七・五・七・七、三十一音という決まった形式があります。この形より音数が少ないものを「字足らず」、多いものを「字余り」といいます。Bは五・七・五・八・七、Cは六・七・五・七・七と、それぞれ三十一音より多くなっているので、どちらも字余りになります。

問二 A

《解説》Aでは、河豚(ふぐ)を釣(つ)って遊んでいる子どもたちの様子がよまれています。「夕焼け小焼け」といった、童謡(どうよう)

出てくるようなことばを用いることで、子どもの世界を印象的にえがいています。石崖いしがけに座っている子どもたちの姿が、夕焼け小焼けの真つ赤な夕空にうかび上がり、まるで影絵かげえのような情景となっている短歌です。



本番では、短歌について複数出題されます。

★短歌の区切り方

★短歌にえがかれている情景などの説明

★表現技法

これらについても問われますので、学校の教科書などで復習をしておきましょう。

4

問一 A E B ウ C ア D イ

《解説》接続語せつぞくごの問題です。接続語は語と語・文と文・段落と段落をつなぐはたらきのことばなので、必ず前後の語句や文章がヒントになります。Aから順番に解くより、まず全部の問題を確認し、わかりやすいものから答えましょう。

問二 痛みや不安と理解する

《解説》直前の文に「患者さん一人一人がかかえるつらさや不安(は)：教科書には細かく書いてありません」とあります。いっぽう、後ろの段落には「仮に教科書に書かれてあったとしても：一人ひとりで病気の感じ方というものはちがいます」ともあります。つまり、ポイントは「教科書に書いてあるかないか」ではなく、「患者さん一人一人の病気の感じ方をすべて理解することは難しい」という意味合いになることを確認したうえで、問いの指定にある「〜できない」という表現をヒントにさがしてみましょう。すると、さらに後ろの段落に「痛みや不安を、まったく同じように自分も感じて理解するということは、だれにもできない」とありますね。字数に注意し、指定の言葉とつながるようにぬき出して書きましょう。

問三 鼻

《解説》「鼻にかける」は、自慢じまんするという意味の慣用語かんようぐです。

問四 (1) ウ

《解説》選択問題せんたくもんだいは、選択肢せんたくしを見る前にある程度、答えを考
えてから選びましょう。先に選択肢を読むと、選択肢の内
容に惑まどわされて、正しい答えが選べないことがあります。
傍線部の直前に「そこまで」とありますので、「そこ」が指
している具体例を、傍線部より前の部分から探しましょう。
「ひどい医師」の例に当てはまら「ない」ものが正解です。

(2) 人の心を察することのできる医師

《解説》「患者さんの心を察することができ医師」が答えで
すが、字数を超えてしまったため書くことができません。同
じ意味を、別の表現であらわしている言葉を見つけること
がポイントです。あらかじめどんな内容がどこに書いてあ
るのかを意識して読むと良いですが、さがす際はまず近く
からが基本です。少しずつ範囲はんいを広げて見ていきましょう。

問五 イ

《解説》筆者は病気をした体験のおかげで、患者さんのつら

さや痛みを想像できる医師になれたと考えています。です
から、これから医師になろうとする学生たちにも同じよう
な経験をしてほしいと思つて「病気になつてつらい経験を
したらどうだい？」と、冗談半分じょうたんはんぶんで言っています。

問六 エ

《解説》当てはまりそうな答えがあつたとしても、しっかりと
と全ての選択肢を読み返しましょう。なんとなくよさそう
な解答であつても、一部分が本文の内容とちがうことがあ
ります。本文から読み取れない内容の選択肢を選んではい
けません。迷つた時は、必ずもう一度本文にもどつて、読
み返すことが大切です。

問七 イ

《解説》設問文には解答のヒントがあります。筆者が最も強
く述べたいことは、「〜と思う（考える）」「〜すべきだ・大
切だ」といった文や、文章の最後のほうでまとめられてい
ることが多いのでおぼえておきましょう。選択肢の中には、
本文中に書いてあるものもあり、迷うかもしれません。

しかし、今回の問いは「筆者が最も伝えたいこと」です。
文章後半の「人生というのは…」で始まる段落以降に着目

すると、「人生には思いがけない形でレッスンが用意されている、それは将来に生かせるものであり、毎日体験している。どんな瞬間にも何かを学べるチャンスがかくされているが、ただし、そのことに気づくかどうかは、自分しだいだよ」と述べられており、これが最も伝えたい内容だということが分かります。

